



### どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

### バイパス道路をつくりました

### 地元の声

- ・ 県や市町村の連携を強化することで、災害から早期に復旧できるようにしてほしい。（地元住民）
- ・ 防災拠点から被災地へ、迅速かつ円滑に移動できるようにしてほしい。（地元住民）
- ・ 駒寄スマートICの大型車対応化と合わせて、アクセス性を向上させてほしい。（道路利用者）

#### 事業前

◆朝夕の通勤帰宅時間帯を中心に、交通混雑が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしていました。



事業前の状況

#### 事業後

◆バイパス整備により、交通渋滞を回避し、災害時にも機能する安全な通行空間を確保しました。



事業後の状況

#### 事業の概要

- 事業箇所：榛東村新井～吉岡町陣場
- 事業内容：バイパス整備  
延長0.9km 道路幅15.5m
- 事業期間：平成27年度～令和2年度



### 事業の進捗状況（令和2年度完了）



#### 今、何をしているか

令和2年度に3期工区の整備が完了しました。令和3年度の2期工区完成とあわせ、高崎渋川線バイパス、駒寄スマートIC、上武道路がつながりました。



3期工区の開通状況

#### 事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了